

観光・物流施策について

(北側臨時議員提出資料)

平成18年5月10日

国土交通省

観光立国の実現に向けた取組み

観光立国推進戦略会議報告書に示された4つの課題

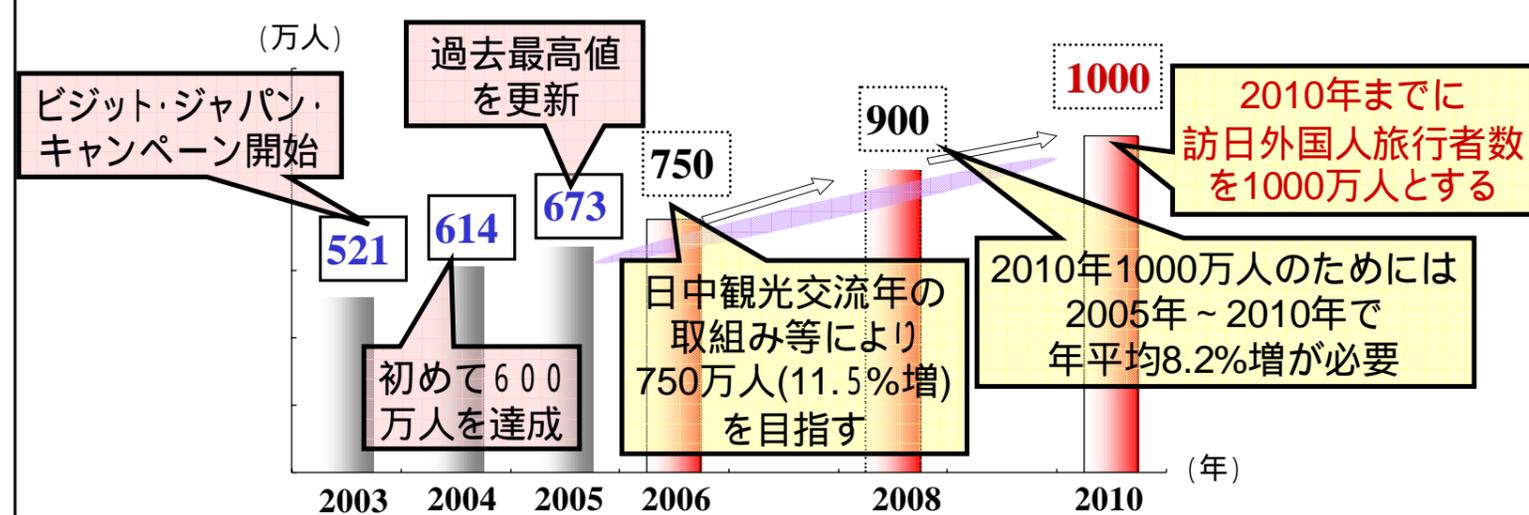
国際競争力のある面的観光地づくり

国際競争力強化のためのソフトインフラ

外国人旅行者の訪日促進

国民の観光促進

訪日外国人旅行者数の推移と目標



観光立国推進施策の具体例

人々が誇りと愛着を持ち、活力に満ちた「住んでよし、訪れてよし」の地域の魅力の発見・発掘と海外への戦略的情報発信

日中韓観光大臣会合
(本年7月北海道で開催)

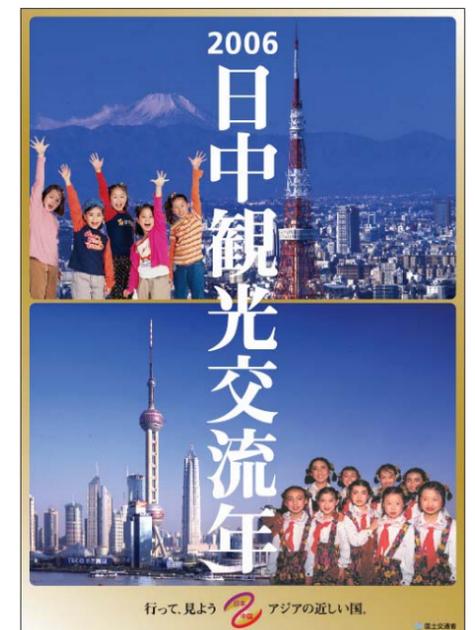
ビジット・ジャパン・キャンペーン
国と地方との連携事業の強化

姉妹都市交流を通じた観光交流促進
事業の実施(旭川等全国10箇所程度)

青少年交流拡大に向け、昨年12月の全国協議会設置に続き、
地域毎の訪日教育旅行促進協議会の設置
(これまでに九州地域の協議会の他、静岡、大阪等7府県で設置)

国際会議等の地方への誘致強化
- 世界華商大会
(来年9月神戸・大阪で開催) 等

また、査証制度の緩和を実施
(韓国・台湾居住者に対する短期滞在査証の免除、中国での訪日団体観光査証の発給対象地域を全土拡大)



本年は日中観光交流年として日中間の相互交流を拡大

裾野が広く、雇用創出効果の大きい、地域の観光受け皿づくり

国際競争力ある観光地づくりに取り組む
民間活動を支援する観光ルネサンス事業
の実施
(まちづくり交付金等との連携によるハード・ソフト一体となった取組み)

「外国人から見た観光まちづくり
懇談会」等の意見の反映

地域の観光地づくりや観光産業
の担い手となる人材の育成

観光がもたらす経済波及効果(2004年度)

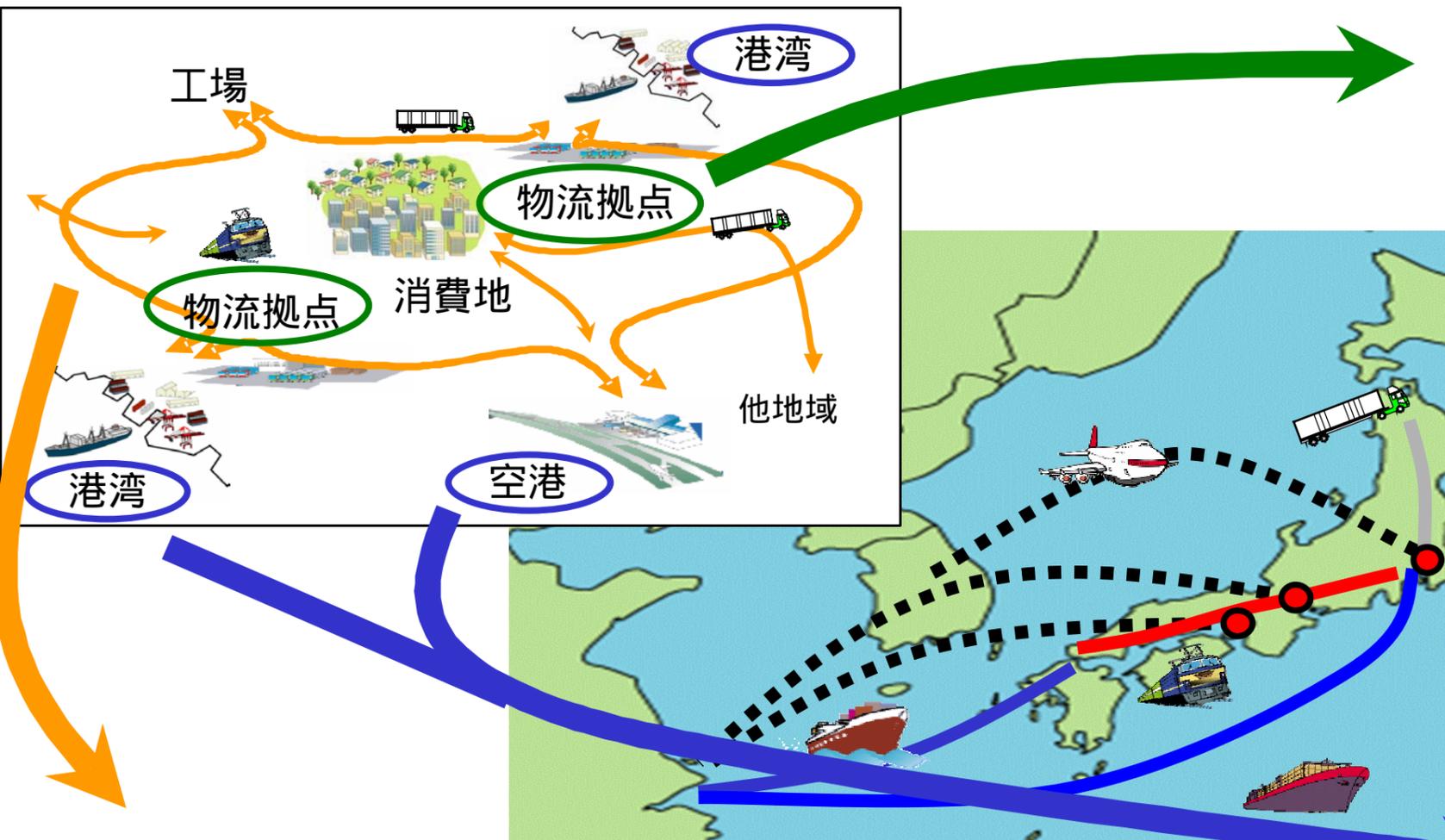
直接効果
旅行消費額
24.5兆円
雇用創出効果
235万人

生産波及効果
55.4兆円(2000年における
国内生産額約949兆円の5.8%)
雇用創出効果
475万人(2003年度における総雇用
約6512万人の7.3%)

国際競争力強化・地域活性化のための国際物流戦略

現状と課題

モノづくりと物流は車の両輪。産業競争力の向上を図るためには、効率的な物流システムの構築が重要。特に、我が国と東アジアの相互依存関係が急速に進展しており、**東アジアとの物流が「準国内物流化」**。このため、スピーディで効率的な国際物流システムの構築が、最重要課題。



国際物流におけるロジスティクス機能の高度化

主要港湾、高速道路周辺等におけるロジスティクス・ハブでの高度なサービス(流通加工、在庫管理等)の提供



国際・国内一体となった物流ネットワークの構築

国際物流基幹ネットワーク(仮称)の構築

- 重要港湾と物流拠点を結ぶルート上のボトルネック箇所(大型車の通行に支障のある箇所)の解消
- 重要な空港・港湾へのアクセス向上

「国際物流戦略チーム」の活用

- 地域の実情に応じた国際物流施策を検討、推進(関東、中部、関西、北部九州で立ち上げ)

国際拠点港湾・空港の機能向上

スーパー中枢港湾プロジェクトの推進

- 港湾コストを約3割低減
- リードタイムを1日程度まで短縮

大都市圏拠点空港の整備・活用

- 羽田再拡張事業
- 成田の平行滑走路の2,500m化
- 関空二期事業の限定供用 など

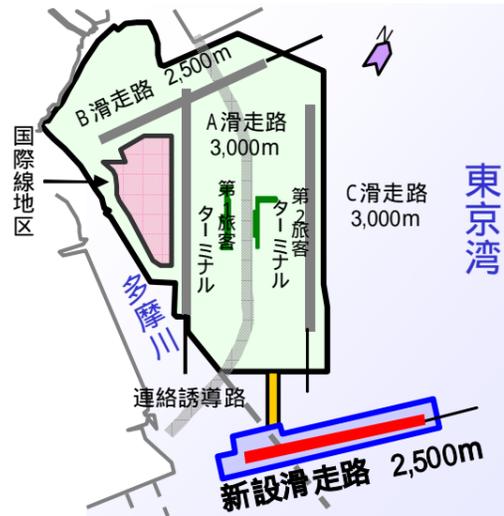
輸出入・港湾手続のシングルウィンドウ化の実現

- 府省共通ポータルを2008年10月に稼動し、申請窓口を一元化

首都圏空港の機能強化

羽田空港再拡張事業

新たに4本目の滑走路等を整備し、発着容量の制約の解消、多様な路線網の形成、多頻度化による利用者利便の向上を図るとともに、将来の国内航空需要に対応した発着枠を確保しつつ国際定期便の受入を可能とする。



再拡張により発着容量が1.4倍増加
(11.1万回/年(152便/日に相当)増加)

〔現行(H17.10.1~)〕
30便/時間 29.6万回/年
(405便/日(810回)に相当)

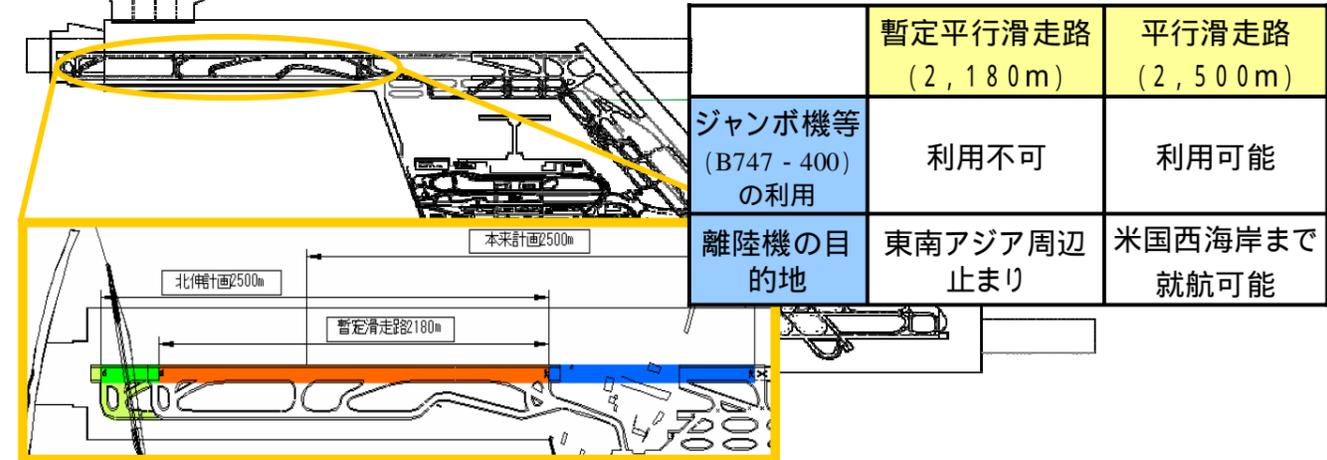
〔再拡張後〕
40便/時間 40.7万回/年
(557便/日(1114回)に相当)

成田国際空港平行滑走路の2500m化

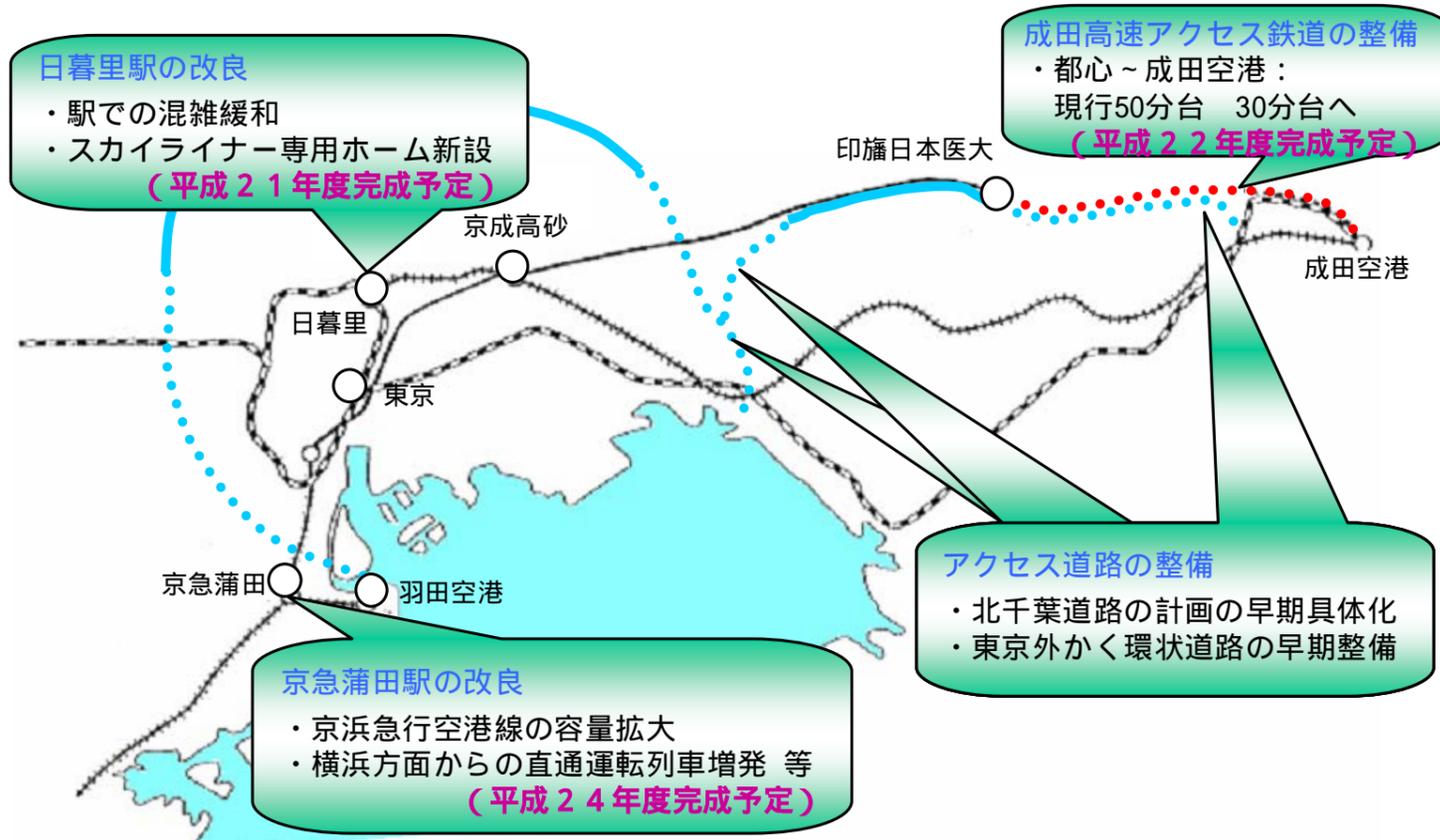
増大する国際航空需要に対する容量不足の解消を図るため、2009年度末を目標に暫定平行滑走路(2,180m)の北伸による平行滑走路の2,500m化を推進、使用機材の制約緩和や発着容量の増大を図る。

未買収地を避けて北側に滑走路を延長

平行滑走路2,500m化の効果



空港アクセスの改善



国際線・国内線の乗り継ぎ利便向上

大都市圏拠点空港の整備や航空ネットワークの拡充により、国際線・国内線の乗り継ぎ利便は着実に向上。

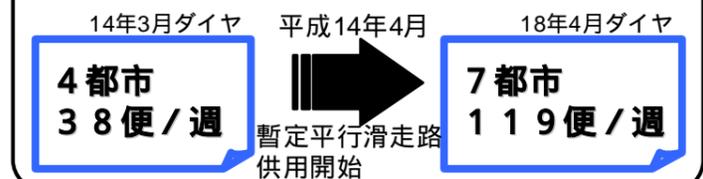
羽田空港

近距離の国際定期便の就航を予定

再拡張後の羽田空港には、概ね3万回の発着枠により、近距離の国際定期便の就航を予定。

成田国際空港

国内ネットワークの拡充



関西国際空港

18年夏ダイヤ
国際線
27カ国、2地域
59都市
575便/週

18年4月ダイヤ
国内線
15都市
372便/週

中部国際空港

18年夏ダイヤ
国際線
16カ国、2地域
30都市
310便/週

18年4月ダイヤ
国内線
24都市
658便/週

(注) 便数は旅客便のみ